

# 編組シース付きスピーカーケーブルへの交換方法

まずスピーカーを横にできて、天井までの高さがスピーカーの2倍の高さ(約2m)の作業場所を確保してください。  
さらにティッシュペーパーを用意して下さい。

1)スピーカーを寝かして、付属の六角レンチ(2.5mm)でスピーカーケーブルストッパーを外します。

注意:スピーカーを寝かす場合は必ずスクリューキャップがきっちりしまっていることを確認してください。

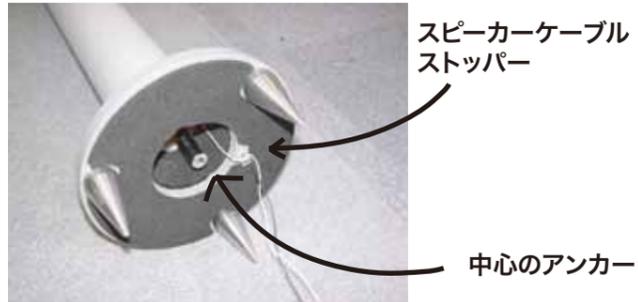


写真1 スピーカー底部

2)スピーカーを起こし、スクリューキャップを外します。反時計回りに回すと外れます。

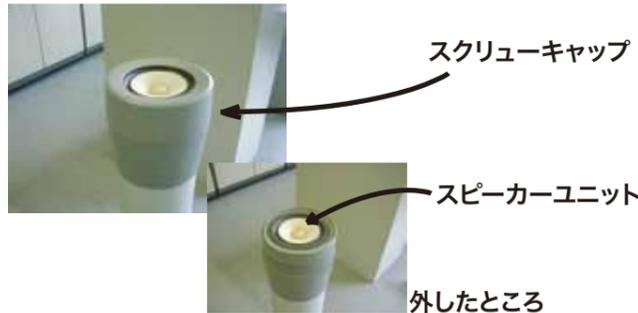


写真2 スピーカー頂部

3)スピーカーユニットを少しだけ持ち上げます。スピーカーの下から手を入れて、中心のアンカー(写真1参照)を押し上げると簡単に持ち上がります。  
たとえば、右手でアンカーを持ち上げ、左手でユニットを支えるとよいでしょう。



写真3 スピーカーユニット

4)その、持ち上げたままの状態ですピーカーケーブルとユニットの接合部分からケーブルを外します。  
スピーカーケーブルが外れたらそのまま垂直に持ち上げていきます。  
外したユニットは作業のじゃまにならない場所に寝かして置いておきます。

注意:アンカーに巻かれた綿のような部分は極力素手で触らないようにしてください。

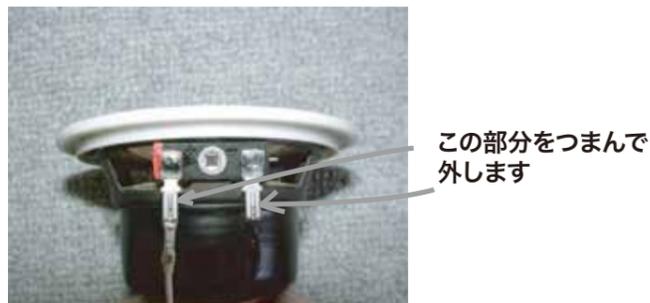


写真4 接合部

※注意:必ず軍手や厚手の手袋を装着して作業していただきますようお願いいたします。特に吸音材に含まれるウスカ(ヒゲ状結晶)によって切り傷を負うことがありますので、吸音材にはなるべく素手で触れないようお願いいたします。

5)作業しやすいようにゲルを外します。外したゲルは広げたティッシュペーパーの上に置いて下さい。

注意:スクリューキャップの内側やゲル(写真5参照)の周囲に液体が付着していることがあります。これはゲルから浸透圧の関係でしみ出ているシリコンオイル成分です。ゲルは医療用に使われているものと同じ成分ですので人体に悪影響はありませんが、外部に漏れると(特にスピーカーを横向きにすると漏れやすくなります)シミになることがありますのでティッシュペーパー等でふきとっておいてください。

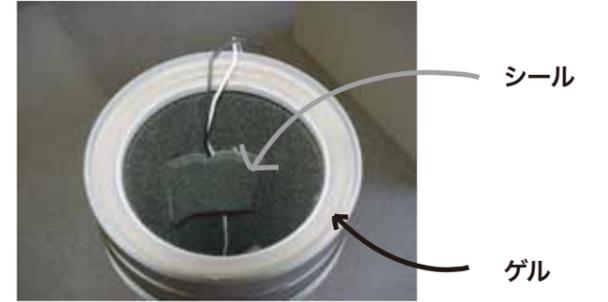


写真5 シール

6)シールをゆっくりと剥がします。剥がすとスピーカーケーブルが完全に外れます。シールは新しいものと交換しますので処分していただいて結構です。

注意:編組シース付きスピーカーケーブルおよびシールは同じ位置に取り付けますので、場所を覚えておいて下さい。

7)もともとついてきたスピーカーケーブルの代わりに、編組シース付きスピーカーケーブルを付属のシールでしっかりと固定します。シールからスピーカーユニットまでの部分を「遊び」と呼んでおり、スピーカーユニットの接続作業をするために必要な部分です。「遊び」は基本的に交換前と同じ長さにすればよいのですが、初期のロットでは極端に遊びの長いものがあり、逆に作業性が悪いものがあります。実際にはケーブルがパイプのフチから4~5cm飛び出すくらいで十分です。

8)スピーカーを寝かして付属の専用スピーカーケーブルストッパーにケーブルを巻き付け、筒の内部のケーブルがたるまない程度に軽く引っ張った状態で、底の部分に取り付けます。



写真6 専用ストッパー

9)ゲルを装着し、ゲルを巻き込まないように注意しながら、ユニットを静かにパイプの中に取りめていき、スピーカーケーブルを接続します。

注意:スピーカーユニットにスピーカーケーブルを取り付ける際は左側(プラス側)が白いケーブル、右側(マイナス側)が黒いケーブルです。

10)スピーカーユニットが取まったら、スクリューキャップをきっちりしめてください。

注意:しめすぎると割れることがありますので、ほどほどに。

以上で作業は終了です。